

病院と地域をむすぶ



パイプライン



2017年 **3月号**

発行：2017.3.10 総合病院 南生協病院

2月実績

一日外来患者数:875.9人 一日入院患者数:261.8人 ベッド稼働率:92.0%
救急車:239台 手術数:131件

倫理委員会で医療の質の向上と人づくりを行っています

倫理委員会委員長 上野芳郎

倫理委員会は、医療行為および、医学の研究において、職員が倫理的判断に基づいた医療実践ができるようにするために、南生協病院長の諮問機関として設置されています。倫理的な問題は、患者様への十分な説明と同意、人権尊重、終末期医療に関する患者様やその家族への同意、宗教と医療に関すること、などさまざまな問題が医療の現場では起こります。また、研究発表などの際にも、人に関する研究については倫理的問題が発生してきます。倫理委員会は、主に職員で構成する、内部委員会と、弁護士や大学教授、地域開業医の先生、僧侶など、客観的に倫理問題についてご意見をいただける方で構成される外部委員で組織されています。月一度委員会を開催して、これらの様々な問題を検討し、南生協病院の医療の質と人づくりを行っています。また倫理症例検討会も開催していますので、ぜひご参加ください。

EOL(エンドオブライフ)ケア チームが始動します！！

南生協病院 EOL チーム

自分の人生そして人生の終焉を、自ら意思決定しながら、どのように生きるのかは一人ひとりの大きな課題です。医療現場の中で、患者さんの意向は置き去りになっていませんか？患者さんが話すことができない、または認知症等の理由で意思決定をどのように行ったらよいか戸惑うことはありませんか？そんな困ったに対して支援していくサポートチームが発足しました。医師・看護師・医療ソーシャルワーカー・リハビリ・薬剤師がチームとなって週2回、病棟に回診に伺います。対象はがんのみならず、がんでない方を含めたあらゆる疾患や症状、苦痛等を持つ方、全てになります。木曜日はがん患者さんを対象・金曜日は非がん患者さんを対象に回診を行いますのでお気軽に声をかけてください。

働きながらの子育てを サポートしています

病児保育室 主任服部ももこ

南生協病院の2階フロアーにある、病児保育室「にこにこ」では、急に子どもが病気になったけど仕事が休めない、という働くお父さん・お母さんの代わりに子どもさんをお預かりする保育室です。

「うちの子は大丈夫かな…」と心配されるお父さん・お母さんが多くいらっしゃいますが、南生協病院で働く方は同じ敷地内、近くにいられる安心感、そして小児科外来と連携しながら保育しているということもあり、数回利用していくうちに安心して預けていただけるようになるようです。

また、勤務の休憩時間に子どもさんの様子を見にこれたり、電話で気軽に様子を聞けるのも嬉しいと言っただけです。

今後も病気の時でも安心して子どもを預け働き続けられるよう、子どもたちの保育を通してサポートしていきたいと思っています。